



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年8月6日

上場会社名 株式会社日新 上場取引所 東
 コード番号 9066 URL <https://www.nissin-tw.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 筒井 博
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 石川 操 (TEL) 03(3238)6631
 四半期報告書提出予定日 2019年8月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	51,231	△4.9	849	△41.6	1,120	△36.3	681	△46.2
2019年3月期第1四半期	53,881	2.9	1,455	△14.2	1,759	△7.3	1,264	△36.6

(注) 包括利益 2020年3月期第1四半期 196百万円(△65.4%) 2019年3月期第1四半期 568百万円(△71.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	34.45	—
2019年3月期第1四半期	63.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	121,594	61,737	48.8
2019年3月期	120,516	62,070	49.5

(参考) 自己資本 2020年3月期第1四半期 59,366百万円 2019年3月期 59,705百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.00	—	28.00	55.00
2020年3月期	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	28.00	—	28.00	56.00

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2019年3月期配当金の内訳 普通配当 50円00銭 創立80周年記念配当 5円00銭

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	111,500	1.9	2,900	2.7	3,300	1.2	2,250	2.1	113.83
通期	223,000	2.3	5,800	1.8	6,600	0.2	4,500	1.7	227.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	20,272,769株	2019年3月期	20,272,769株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	507,487株	2019年3月期	507,288株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	19,765,341株	2019年3月期1Q	19,765,830株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づき作成したものであり、リスクや不確定要素を含んでおりますので、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	
(会計方針の変更)	
(追加情報)	
(セグメント情報等)	
(その他の注記事項)	

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第1四半期の経営成績

当第1四半期連結累計期間（以下「当第1四半期」）における世界経済は、米中貿易摩擦やユーロ圏の成長減速など、世界的な景気の先行き不透明感が続きました。

このような状況下、当社グループでは第6次中期経営計画の3年目を迎え、引き続き自動車関連物流、化学品・危険品物流、食品物流を重点分野として事業に注力しました。しかしながら物流事業では世界的な航空需要の低迷により、航空貨物取扱量が減少しました。旅行事業においても業務渡航者が減少し、売上が伸び悩みました。

これらの結果、当第1四半期における売上高は前年同期比4.9%減の51,231百万円、営業利益は前年同期比41.6%減の849百万円、経常利益は前年同期比36.3%減の1,120百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比46.2%減の681百万円となりました。

②セグメントの業績

イ. 物流事業

日本では、化学品・危険品の配送、構内作業が堅調に推移しました。食品についても冷凍、冷蔵貨物取り扱い業務が順調に推移しました。一方、自動車関連貨物は輸出量自体の減少に加え、輸送モードの変化も起こり収益を押し下げました。海外においては、米州ではメキシコの収益回復、米国の倉庫増床、食品輸出等で堅調な収益を維持しました。一方、欧州、アジア、中国の各地域においてはフォワーディング事業、倉庫事業ともに取扱いが低調でした。

この結果、売上高は前年同期比4.9%減の36,440百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比51.0%減の491百万円となりました。

ロ. 旅行事業

主力の業務渡航取扱人数が前年同期比で減少に転じました。

この結果、売上高は前年同期比5.5%減の14,468百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比53.1%減の109百万円となりました。

ハ. 不動産事業

京浜地区における商業施設、駐車場などの不動産事業が堅調に推移しました。また同期間における大規模工事監理業務が収益に大きく寄与しました。

この結果、売上高は前年同期比12.4%増の446百万円、セグメント利益（営業利益）は前年同期比14.4%増の244百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金や受取手形及び売掛金の減少等がありましたが、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用により建物及び構築物等の有形固定資産が増加し、前連結会計年度末に比べ1,078百万円増の121,594百万円となりました。

負債は、買掛金や未払法人税等の減少等がありましたが、国際財務報告基準を適用する在外連結子会社のIFRS第16号「リース」の適用によりリース債務が増加し、前連結会計年度末に比べ1,411百万円増の59,857百万円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ333百万円減の61,737百万円となりました。自己資本比率は、前連結会計年度末より0.7ポイント減の48.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

世界経済の減速は短期での回復が見込めない状況です。日本においても経済成長の減速、10月に予定される消費税増税による消費マインドの低下予想など、事業環境は一層厳しさを増しています。

このような状況のなか、当社グループは2022年3月期を最終年度とする第6次中期経営計画（6次中計）の達成に向けてグループ一丸で取組んでまいります。6次中計の核である重点3分野（自動車関連、化学品・危険品、食品）を軸とした国内外でのビジネス拡大に取り組めます。物流事業においては国内外の積極的な投資を継続し、国内で下期に2つの大型施設を竣工、稼働させ収益拡大を図ります。旅行事業ではMICE、インバウンド需要への営業強化による収益回復を目指します。収益性の高い不動産事業では更なる収益確保に努めます。

なお、今後の見通しについては現在慎重に精査を行っております。

2019年5月9日の決算短信で公表いたしました第2四半期連結累計期間・通期連結業績予想の現時点での変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,671	17,283
受取手形及び売掛金	29,363	28,176
原材料及び貯蔵品	117	96
その他	6,245	6,502
貸倒引当金	△112	△104
流動資産合計	55,285	51,952
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	53,532	57,855
減価償却累計額	△38,362	△39,446
建物及び構築物（純額）	15,169	18,409
機械装置及び運搬具	12,974	13,820
減価償却累計額	△10,293	△10,538
機械装置及び運搬具（純額）	2,681	3,282
土地	20,066	21,250
その他	5,621	6,108
減価償却累計額	△2,569	△2,576
その他（純額）	3,051	3,531
有形固定資産合計	40,968	46,473
無形固定資産		
借地権	730	727
その他	1,984	1,141
無形固定資産合計	2,715	1,868
投資その他の資産		
投資有価証券	15,447	15,081
長期貸付金	610	597
退職給付に係る資産	984	1,007
繰延税金資産	890	901
その他	3,755	3,833
貸倒引当金	△140	△120
投資その他の資産合計	21,546	21,299
固定資産合計	65,230	69,642
資産合計	120,516	121,594

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	13,304	12,206
短期借入金	8,391	8,231
リース債務	353	2,153
未払法人税等	1,281	282
賞与引当金	2,272	1,311
役員賞与引当金	65	16
その他	7,716	7,962
流動負債合計	33,384	32,162
固定負債		
社債	2,000	2,000
長期借入金	15,048	14,793
リース債務	1,073	3,713
長期末払金	239	239
繰延税金負債	928	1,025
退職給付に係る負債	3,954	4,090
その他	1,816	1,832
固定負債合計	25,062	27,695
負債合計	58,446	59,857
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,097	6,097
資本剰余金	4,711	4,711
利益剰余金	46,664	46,828
自己株式	△716	△716
株主資本合計	56,756	56,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,313	4,049
繰延ヘッジ損益	0	△1
為替換算調整勘定	△622	△911
退職給付に係る調整累計額	△743	△690
その他の包括利益累計額合計	2,948	2,445
非支配株主持分	2,364	2,371
純資産合計	62,070	61,737
負債純資産合計	120,516	121,594

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
売上高	53,881	51,231
売上原価	44,900	43,013
売上総利益	8,980	8,218
販売費及び一般管理費	7,525	7,368
営業利益	1,455	849
営業外収益		
受取利息	17	20
受取配当金	192	192
持分法による投資利益	123	69
為替差益	—	12
その他	79	95
営業外収益合計	412	390
営業外費用		
支払利息	84	103
為替差損	2	—
その他	21	14
営業外費用合計	108	118
経常利益	1,759	1,120
特別利益		
受取保険金	—	※ 122
固定資産売却益	18	11
特別利益合計	18	133
特別損失		
投資有価証券評価損	—	109
固定資産除却損	8	2
固定資産売却損	0	0
特別損失合計	8	112
税金等調整前四半期純利益	1,769	1,141
法人税、住民税及び事業税	207	240
法人税等調整額	256	181
法人税等合計	464	421
四半期純利益	1,305	720
非支配株主に帰属する四半期純利益	40	39
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,264	681

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,305	720
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△198	△268
繰延ヘッジ損益	2	△2
為替換算調整勘定	△737	△281
退職給付に係る調整額	214	52
持分法適用会社に対する持分相当額	△18	△25
その他の包括利益合計	△737	△523
四半期包括利益	568	196
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	566	178
非支配株主に係る四半期包括利益	1	18

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

一部の連結子会社は、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

国際財務報告基準を適用している在外連結子会社は、当第1四半期連結会計期間よりIFRS第16号「リース」を適用しております。これにより原則として、借手におけるすべてのリースを、四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、経過措置として認められている、当該会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末の有形固定資産の「建物及び構築物(純額)」が3,413百万円、「機械装置及び運搬具(純額)」が644百万円、「土地」が1,075百万円、「その他(純額)」が49百万円、流動負債の「リース債務」が1,779百万円及び固定負債の「リース債務」が2,569百万円増加し、無形固定資産の「その他」が840百万円減少しております。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち、決算日が12月31日または1月31日であったNISSIN INTERNATIONAL TRANSPORT U.S.A., INC他19社につきましては、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、連結財務諸表のより適正な開示を図るため、当第1四半期連結会計期間より、決算日を3月31日に変更しております。

また、連結子会社のうち、決算日が12月31日である上海高信国際物流有限公司他2社につきましては、連結決算日である3月31日に本決算に準じた仮決算を行い、連結する方法に変更しております。

なお、当該連結子会社の2019年1月1日または2019年2月1日から2019年3月31日までの損益については、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

Ⅰ 前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,272	15,267	340	53,881	—	53,881
セグメント間の内部売上高 又は振替高	24	36	56	118	△118	—
計	38,297	15,304	397	53,999	△118	53,881
セグメント利益	1,004	234	213	1,452	3	1,455

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	物流事業	旅行事業	不動産事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,413	14,437	379	51,231	—	51,231
セグメント間の内部売上高 又は振替高	26	30	66	123	△123	—
計	36,440	14,468	446	51,354	△123	51,231
セグメント利益	491	109	244	846	3	849

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(その他の注記事項)

(四半期連結損益計算書関係)

※ 受取保険金

前第1四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

2018年8、9月に発生した台風の被害における保険金の受取額であります。